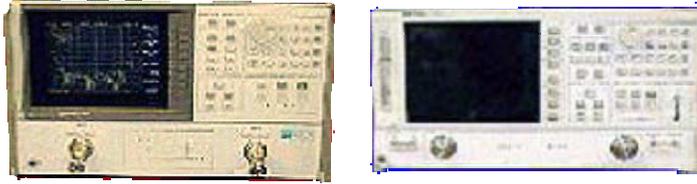


## 吸収体の反射量測定

### 1. アーチ型吸収体反射量測定システム

アンテナ設置アーチ枠、吸収体設置テーブル、不要反射防護用吸収体とホーンアンテナ／ネットワークアナライザ：NA を用いたスイープ法により反射減衰量を測定



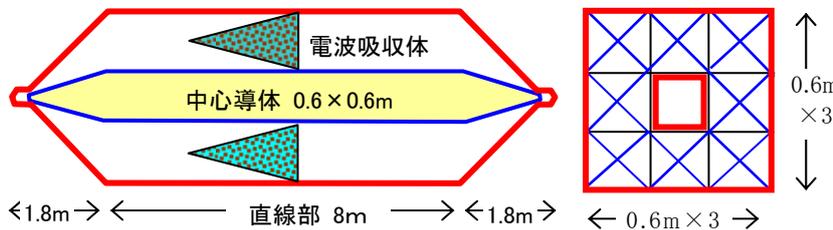
仕様：1G～40GHzの反射減衰量測定、角度設定：0～90°

測定：①FRPアーチにアンテナを取付け、吸収体設置台が金属反射状態での反射量を測定、②被測定物を設置し、吸収体の反射量特性を測定、③測定データより反射減衰量を計算処理して求める。

※不要反射は、NA のゲート幅設定でカット

### 2. 1800口角型導波管測定システム

大型：L=11m×1.8m×1.8m の角型導波管に 600口の電波吸収体を設置(吸収体単体/フェライトとの組合せ/施工条件)し、NAを用いたスイープ法によりSパラメータを測定



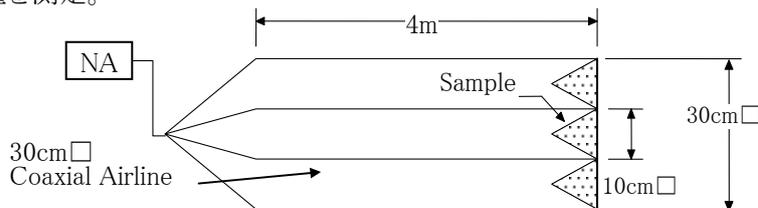
仕様：10～120MHzの反射：S11/ S22、透過：S21 測定

測定：①吸収体取付け部をオープン/ショートして測定系を校正、②被測定物を設置し、吸収体のSパラメータ測定、③測定データより反射減衰量を計算処理して求める。

※不要反射は、NA のゲート幅設定でカット

### 3. 300口角型導波管測定システム

L=4m×0.3m×0.3mの角型導波管に10×10cmベース試料8個または10×10cmの角穴を空けた資料を挿入して反射減衰量を測定。



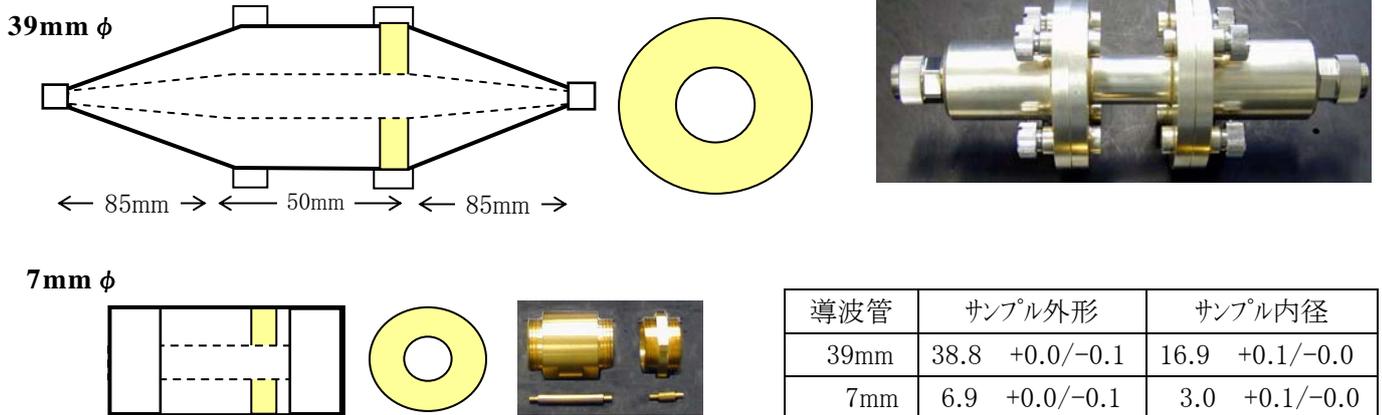
仕様：10～1GHzの反射：S11/ S22、透過：S21 測定

測定：①吸収体取付け部をショートして測定系を校正、②被測定物を設置し、反射減衰量測定

※不要反射は、NA のゲート幅設定でカット

#### 4. 39mmφ/7mmφ 同軸管材料評価システム

39mmφ 又は 7mmφ の円筒同軸管を用い、スリーブ法による反射:S11/ S22、透過:S21 の測定と  $\epsilon' / \epsilon''$ 、 $\mu' / \mu''$  を計算により求める



仕様: 39mm: 1MHz~1GHz、7mm: 1MHz~10GHz  
 反射:S11/S22、透過:S21 測定と  $\epsilon' / \epsilon''$ 、 $\mu' / \mu''$  を計算プロット

測定: ①吸収体取付け部をショート/オープン/50Ω 終端して測定系を校正、②被測定物を設置し、S パラメータを測定、③S パラメータから  $\epsilon' / \epsilon''$ 、 $\mu' / \mu''$  を計算、④材料厚みを変化時の反射/透過特性シミュレーションが可能

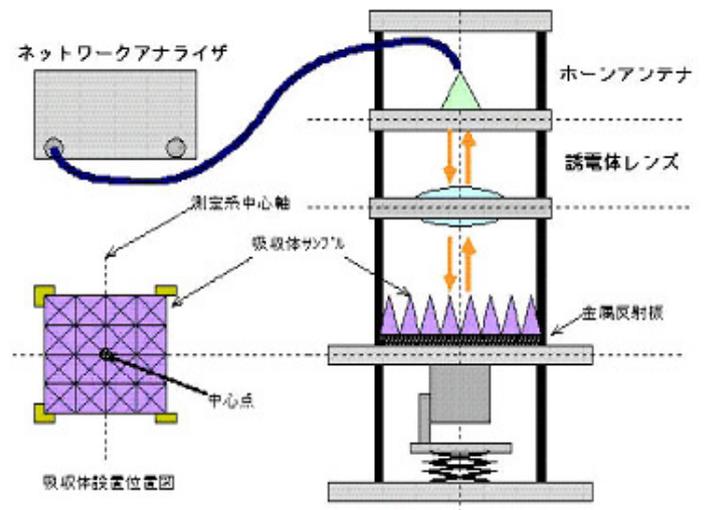
#### 5. 誘電体レンズ吸収体反射量測定システム

大型誘電体レンズ、指向性の良い帯域別ホーンアンテナと40GHzNAを用い、反射減衰量を測定。

仕様: 2.6G~40GHz、反射減衰量測定  
 試料サイズ: Max 60×60cm, H: 60cm

測定: ①吸収体取付け部を金属面にして測定系を校正、②被測定物を設置し、反射減衰量を測定

※不要反射は、NA のゲート幅設定でカット



測定場所: 株式会社リケンエレクトック 熊谷テクニカルセンター  
 〒306-8522 埼玉県熊谷市末広4丁目14番1号